

自然環境保全対策検討部会の報告

1 議題

- (1) 令和7年度の取組状況について → 資料3-1
 (2) 携帯トイレ運営管理体制の検討について → 資料3-2
 (3) その他
 (4) 令和8年度の取組(案)について → 資料3-3

2 主な質疑・意見交換内容

(1) 令和7年度の取組状況について

【継続】 携帯トイレブース設置、使用済み携帯トイレ回収ボックス及び仮設トイレ設置、クリーン&グリーンキャンペーン期間中の携帯トイレ普及啓発カードの配布。

【R7 新規】 ・使用済み携帯トイレ回収ボックスを4か所から1か所に変更。
 ・山頂避難小屋携帯トイレブースのドアやブース内へ使用方法等の掲示を貼付。
 ・早池峰マナーガイドの簡易版を多言語で作成し、クリーン&グリーンキャンペーンテントや道の駅はやちね等で掲示。

<主な意見等> なし

(2) 携帯トイレ運営管理体制の検討について

令和6年度までの検討において、新たな運営主体へ移行させるにあたり負担が最小限となることが必要であり、方法として外部委託の案が挙げられた。令和7年度は、携帯トイレ販売利益の範囲内で収まる額となるよう、管理に従事する日数と業務内容を基に試算した。

<主な意見等>

- ・委託料試算のガソリン代について燃費が良すぎると思うが、何を根拠にしたか。
 ⇒ (事務局) 国土交通省の資料で、乗用車の燃費基準値というものを引用した。
- ・積算したことはなかったが、ボランティアの取組が費用として確認できた。

(3) その他

ア 携帯トイレサポート早池峰の活動について

- ・活動日数は、大体はクリーン&グリーンキャンペーンと兼ねており、年間30日ほど。
- ・山頂避難小屋への在庫補充や売上金回収は、週1回程度で行きたいが、天気によっては2~3週間行けない場合こともある。
- ・携帯トイレサポートのほか、グリーンボランティアに作業を頼むこともある。

イ 新しい仕様の携帯トイレについて

- ・外袋がビニールのものから、クラフト紙製の仕様のものに切り替える予定。
- ・現在のタイプのもは在庫が残っているので、切り替え時期については検討中。
- ・販売価格は今よりも値上げする予定。

<主な意見等>

- ・山頂避難小屋の管理員室に在庫を預け、販売ボックスへの補充を管理員さんに頼むことはどうか。
 ⇒ (事務局) 委嘱元の市と調整し、依頼することとする。
- ・新仕様の携帯トイレの価格が上がる理由は。
 ⇒ (携帯トイレサポート) 環境に配慮したクラフト紙でそのまま捨てられる仕様となり、仕入れ価格が上がる。
- ・無人販売の場所をいずれは減らしていきたいが、山頂をなくすのは難しい。野外排泄が今年あったので、山頂や下で売らなくなると野外排泄が増えることも懸念される。

(4) 令和8年度の取組について

- ・保全対策の取組については、令和7年度の取組を継続する。
- ・携帯トイレ管理運営体制の検討については、運営の負担軽減となるよう方法を工夫しながら、外部委託先や運営主体の検討を進める。

令和7年度の取組状況について

1 保全対策の取組

(1) 携帯トイレブースの設置

0.5 合目付近に携帯トイレ簡易テントを設置(5/19～10/10)。



(2) 使用済み携帯トイレ回収ボックス及び仮設トイレの設置

R7 年度は、携帯トイレ回収ボックスの設置を小田越登山口のみとした。(河原の坊、峰南荘前、岳駐車場の設置箇所を廃止。)

小田越登山口付近に仮設トイレを設置。

【使用済み携帯トイレ回収実績】

年度	回収量(個)				合計
	岳駐車場	峰南荘前	河原の坊	小田越登山口	
R4	17	6	25	599	647
R5	32	1	57	601	691
R6	38	9	34	963	1,044
R7				1,083	1,083

【仮設トイレし尿処理実績】

年度	基数	設置期間	し尿回収量(L)
R4	大小兼用5、小専用1	6/2～10/20	6,750
R5	〃	6/1～10/20	6,300
R6	〃	6/1～10/23	7,020
R7	〃	6/5～10/17	6,570

(3) 携帯トイレ普及啓発カードの配布

早池峰クリーン&グリーンキャンペーン(6/8～8/3)において、登山前にトイレを済ませることや使用済み携帯トイレの持ち帰りを呼び掛ける携帯トイレ普及啓発カードを配布。

早池峰山に入山される皆様へ

山頂避難小屋は携帯トイレ専用となっています。

【入山時のお願い】

- ①登山前にトイレを済ませましょう。
 - ②緊急時に備えて携帯トイレを用意しましょう。※使用済み携帯トイレは可能な限り持ち帰りをお願いします。
- ～岩手県自然保護課～



【携帯トイレ販売場所】

通年：ローソン花巻大迫町店
5月中旬～10月中旬：
早池峰ロッヂ峰南荘、早池峰総合休憩所、
小田越自然公園保護管理員詰所、山頂避難小屋

【携帯トイレ回収場所】 ※6月上旬～10月中旬
小田越登山口

携帯トイレ管理体制の検討について

(1) 昨年度部会での意見及び対応について

(主な意見内容) ・ 携帯トイレ管理体制を行政主体に移行させる場合の課題として、携帯トイレの補充と売上金の回収対応があげられ、その対応策として業務委託が考えられる。

- ・ 業務委託する場合、別途委託料が発生するため、委託料を捻出する必要がある。
- ・ 携帯トイレに係る業務全てを自治体がやるのではなくボランティアと共同で実施していくことで、足りない部分等を補い合いながら対応ができるのではないか。
- ・ 携帯トイレ管理に従事する日数と業務内容から、事務局側でおおまかな委託料の算定ができるので、委託料の試算をしてみてもどうか。

(対応) 携帯トイレ販売売上利益の範囲で外部委託できるかどうか、携帯トイレ販売管理業務の委託料を試算した。(2ページ)

(2) 携帯トイレ管理運営体制の見直しに向けた令和7年度取組について

・ 取組1 携帯トイレ補充と売上金回収業務の委託先の検討 →山岳会等の団体への外部委託などが考えられるが、支払事務を行う主体の存在が必要となるため、引き続き検討が必要。

・ 取組2 キャッシュレス決済の導入可能性の検討 →売上金回収の負担軽減としてキャッシュレス決済の案が挙げられていたが、通信環境、契約主体、手数料等の課題が考えられ、実施主体が具体的でない現時点では検討を進められない。

・ 取組3 各無人販売ボックスの販売個数調査を実施し、調査結果について次年度の部会で確認

	河原の坊	小田越詰所	山頂	キャンペーン	峰南荘	ローソン	合計
R4	318	165	181	548	80	0	1,292
R5	326	141	54	586	80	115	1,302
R6	250	86	213	723	100	138	1,510
R7	240	107	290	586	100	165	1,488

・ 取組4 携帯トイレの仕様等の確認 →昨年度の部会の資料では、携帯トイレ販売の利益がないことを前提として、市販の携帯トイレの仕様を確認し、利益が出る別の携帯トイレや販売方法を検討するため取組案としていたもの。しかし、昨年度の意見交換で現状の販売に利益分があることが分かったことから、別の携帯トイレや販売方法の検討は行わないものの、参考として市販の携帯トイレについて調べた。

購入場所	商品名	個数	価格(税込)	構成	処理袋サイズ	参考
早池峰地域	携帯トイレ・早池峰エコパック	1	500円	処理袋(吸収シート入り)、収納袋	550×650mm	
アウトドアショップ等	O.D.トイレキット	1	330円	処理袋、吸水ポリマー、防臭袋	650×500mm	モンベルオンラインストア
	簡易トイレ	1	660円	※早池峰のものと同様+ポケットティッシュ	550×650mm	好日山荘オンラインストア
100円ショップ	防災用ポータブルトイレ	1	110円	処理袋、吸水性ポリマー、PE袋	135×300mm	ダイソーネットストア

R8年度 携帯トイレ販売仕様

・仕入単価	470円
・販売価格(共通)	700円
・無人販売ボックス・CGキャンペーン	700円 1個あたり230円の収入
・峰南荘・ローソンへの卸価格	500円 1個あたり30円の収入
※販売価格は700円(200円分は峰南荘、ローソンの利益)	

1 収入

科目	金額	積算
携帯トイレ販売(無人販売ボックス)	57,500円	河原の坊 250個
	18,400円	小田越 80個
	48,300円	山頂 210個
携帯トイレ販売(CGキャンペーン)	165,600円	720個
携帯トイレ販売(峰南荘・ローソン)	3,000円	峰南荘 100個
	3,900円	ローソン 130個
合計	296,700円	

※1 R6販売個数実績をもとに積算

※2 売上利益(1個当たり230円または30円)のみで試算。

2 支出

科目	金額	積算
(1) 労務費	87,635円	(山頂)1人×5時間×年17回
	43,818円	(山頂以外)1人×2.5時間×年17回
		岩手県最低賃金 1,031円×5時間(山頂)
(2) ガソリン代	31,447円	1往復あたり燃料消費量×年34回
		・ガソリン単価 167.86円(盛岡地区R7.11)
		・回数 年34日
		・距離 盛岡市～早池峰山(片道) 58.4km
		・乗用車(～702kg)燃費基準値 21.2km/L
		58.4km×2÷21.2km/L 1往復あたり5.51L
(3) その他経費	29,801円	消耗品等
合計	192,700円	

※3 R6活動日数実績をもとに積算

収入 296,700円 - 支出 192,700円 = 104,000円

令和8年度の取組(案)について

1 保全対策の取組 ※令和7年度の取組継続

- (1) 0.5 合目付近の携帯トイレブースの設置
- (2) 使用済み携帯トイレ回収ボックス及び仮設トイレの設置
- (3) 携帯トイレ普及啓発
 - ・携帯トイレ普及啓発カードの配布など、登山前にトイレを済ませることや使用済み携帯トイレの持ち帰りについて呼びかける。
 - ・早池峰マナーガイド多言語版について、今年度に引き続きシーズン中の掲示を行い、外国人も含めてマナー啓発を図る。

2 携帯トイレ管理運営体制の見直し検討

引き続き、携帯トイレ管理業務の運営主体について部会で検討していく。